

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ネクストスポーツで地域を繋ぐ事業		
事業主体 (連絡先)	ネクストスポーツで地域を繋ぐ会 事務局 (0269-23-5090)		
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくり		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	662.425	円 (うち支援金: 521.000	円)

事業内容

1、「ネクストスポーツ」実践活動

令和5年8月26日、中央公民館にて開催。

令和5年12月9日、西部公民館にて開催予定も、参加者の多くがインフルエンザにより欠席連絡があったため、中止とした。

令和6年2月11日、北部公民館に開催。

令和6年3月に豊田公民館にて開催予定であったが、主催者の体調不良があり打合せできず、12月10日に中野市高梨城址公園にて開催されたイベントに変更。

予算内で体験会ブースを設営した。

2、「ネクストスポーツフェス 2023in 中野」の開催

予定していた10月1日に同会場にて「なかのフェスタ」が開催される計画となっており、コラボイベントとして開催した。

常設体験会ブースをテント下に設置。SASSENはステージ上でも実施した。



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

中野市民から市世代スポーツの実践者の増加: 100名

→上記1・2の活動を合わせると150名ほどが実践者となり参加した。

中野市民の次世代スポーツの理解者の増加: 500名

→参加者の多くが初参加の方であり、その家族を巻き込んで理解者の増加につながったが、おおよそ300名ほどにとどまった。

県内外からの中野市の次世代スポーツへの取り組み評価: 0から20%増加

→取り組み自体を市外、県外へ発信する機会が少なく、10%ほどに留まったと思われます。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

中野市民の次世代スポーツへの理解者、実践者を引き続き増加していくこと、またその人たちを理解者・実践者とし継続していかなくてはならない。また、中野市で次世代スポーツに取り組んでいる事実の発信力が弱い。そのために、多くの人が足を運ぶイベントにコラボ開催させていただき、様々な方に取り組んでいただく場を増やし、更なる実践者や理解者、活動認知の向上につなげていく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ①中野市民から市世代スポーツの実践者の増加: 100名
- ②中野市民の次世代スポーツの理解者の増加: 500名
- ③県内外からの中野市の次世代スポーツへの取り組み評価: 0から20%増加

※自己評価【B】

【理由】

次世代スポーツというなじみの少ない物の認知、拡散方法に課題を感じた。

SNSやメディアを利用し次世代スポーツを中野市でやっているという事実、認知度や注目度の向上を図ることも課題と考えます。